

## 両郷地区市政懇談会

日 時：平成28年7月27日（水）午前9時30分

会 場：両郷地区コミュニティセンター



### 懇談テーマⅠ 安全・安心な地域社会に関するご意見

- ①「防災ハザードマップ」により危険箇所・避難場所等の情報は提供されているが、危険箇所の危険度による改修計画はあるのかお聞きしたい。
- ②防災行政無線の音の届かない地域についての対策についてお聞きしたい。

#### 《ご回答》

- ①危険箇所改修計画につきまして、事業主体の大田原土木事務所に確認し、今年度は須賀川地区の平渡土沢、須佐木地区の柳田沢、下杉ノ内沢の3溪流で砂防事業が実施されると聞いております。両郷地区の土砂災害危険箇所につきましても、順次対策を検討していくとのことです。
- ②防災行政無線につきましては、現在使用しているアナログ機器のデジタル化が必要となり、アナログ機器が平成34年11月30日を境に使用できなくなります。それまでに、防災行政無線の将来のあり方を総合的に検討するなかで、難聴地域の解消についても検討してまいります。なお、市では、災害情報に限らず様々な行政情報を発信する「よいちメール」の配信を本年2月から始めましたので、こちらもお活用くださいますようお願いいたします。

### 懇談テーマⅡ 産業の振興・雇用の確保に関するご意見

地域おこし協力隊の具体的な活動内容、これまでの成果、これから見込まれる地域への効果についてお聞きしたい。

#### 《ご回答》

両郷地区に居住する地域おこし協力隊は現在3名おります。

阿久津絢子隊員は、与一くんを活用し、大田原市の情報発信活動や両郷地区のイベント等に参加し地域振興活動を行っております。大家美智子隊員は、竹を活用したイベント等の企画運営や住居スペースを活用し子育て女性の集えるコミュニティ拠点づくりを進めております。西村大喜隊員は、主に芸術文化研究所におきまして、芸術、文化の振興に資する活動を行っております。

地域おこし協力隊の制度は、人口減少や高齢化が進行する地方において、地域外の人材を誘致し、そこに定住してもらい、地域力の維持・強化を図っていくことを目的としております。本市といたしましても、中山間地域に新しい住民が増え、新しい地域活動が行われることで、地域に元気と活力を与え、将来にわたり活力を維持し興隆促進につながるものと期待しております。

### 懇談テーマⅢ 高齢者対策・医療・福祉に関するご意見

結婚支援事業の婚活マスターの認定状況及び成婚の実績などについてお聞きしたい。

#### 《ご回答》

婚活マスターの認定状況は、平成26年度に73名、平成27年度に41名が認定され、うち3名が辞退されたので、現在111名が活動しております。

月2回の情報交換会では、カップルとして相応しい相手を見つけ、お見合いまで世話をし、現在まで2組が成婚いたしました。また、平成26・27年度に市が主催した婚活イベントを通じて出逢ったカップルが、2組婚姻しております。

結婚支援事業としましては、本年4月から大田原市に婚姻届出を行い、かつ2年以上本市に居住することを確約したご夫婦に対し、結婚祝金として1万円の大田原市子育て支援券をお渡しております。

### 懇談会でいただいたご意見

#### ○大輪の十字路への防犯カメラの設置について

《ご回答》 個人情報の問題があるため、地域の総意を取りまとめていただき、自治会等で申請をしていただきたいと考えております。設置にあたりましては、その費用の一部を補助しております。

#### ○鍛冶内沢の一番奥にスーパー林道を造っていて、ちょっと雨が降っただけで濁り水が出ている。

《ご回答》 関係各課において現地を確認し対処いたします。

#### ○市道に接する市有林が崩れそうだが、その対応について

《ご回答》 状況を確認させていただき対処いたします。

○農道の防塵舗装について

《ご回答》 ご要望をいただいた箇所現地確認の後、工事箇所付けを行い実施しております。

○松葉川の浚渫や草刈り等について

《ご回答》 ご要望内容は河川管理者であります大田原土木事務所に連絡いたします。

○防災無線の整備と活用について

《ご回答》 防災行政無線は多額の費用が必要であるため、区域の問題と合わせ、防災無線より比較的安価なコミュニティFMを整備するなど、従前の通報手段以外も含めて検討してまいります。

○小学校の統廃合の進捗状況について

《ご回答》 教育委員会としましては、平成26年5月に提出された答申書を最大限に尊重いたしますが、当時のPTA会長と話をした際に待ってくれと言われたため、両郷地区においては説明会を開いていない状況となっております。

○グリーン・ツーリズムを通した大田原市、両郷地区のアピールについて

《ご回答》 両郷地区は資源が豊富な地域ですので、アピールする意味で、まずは子どもたちの民泊を受入れていただきたいと考えております。その子どもたちが大人になった時にリピーターとなり、地域のアピールを行ってくれることを期待しています。